

22 IoTと屋内位置情報の連携による新たなサービスのデザイン

(東京オリンピック施設での実現を目指して???)

Free
theme

実施者: 石原 克治(京都大学 経営管理大学院 / 日建設計総合研究所) 他4名

- 今後爆発するIoT分野で重要なキーデータになるのは、時間と空間情報であり、サブメートル(メートル未満)の位置精度であらゆるモノを管理できることが求められる。そのキーとなる屋内位置情報を用いて、どのようなサービスを生み出せるのか、またどのように既存サービスを改善できるのかを対象としたサービスデザイン。
- 屋外と同様に、屋内についても位置情報の需要が高く、数年後を見通し中期的に実用化、普及が期待される技術。
- 屋内位置情報は、建物施設のオーナー、テナント、そして来訪者に有用な情報であり、新たな質の高いサービスを提供する源泉となる。本テーマにおいては、屋内位置情報を活用した先進的なサービスをデザインし、その導入可能性を探るとともに、実用化に向け課題解決を図る。そして、魅力的なサービスを提案することによって、屋内位置情報システムへの建物側インフラ投資を促進する。これによって、さらに低コストでのサービス提供が可能となり、類似のサービス導入促進が期待される。

利用可能性 (例)

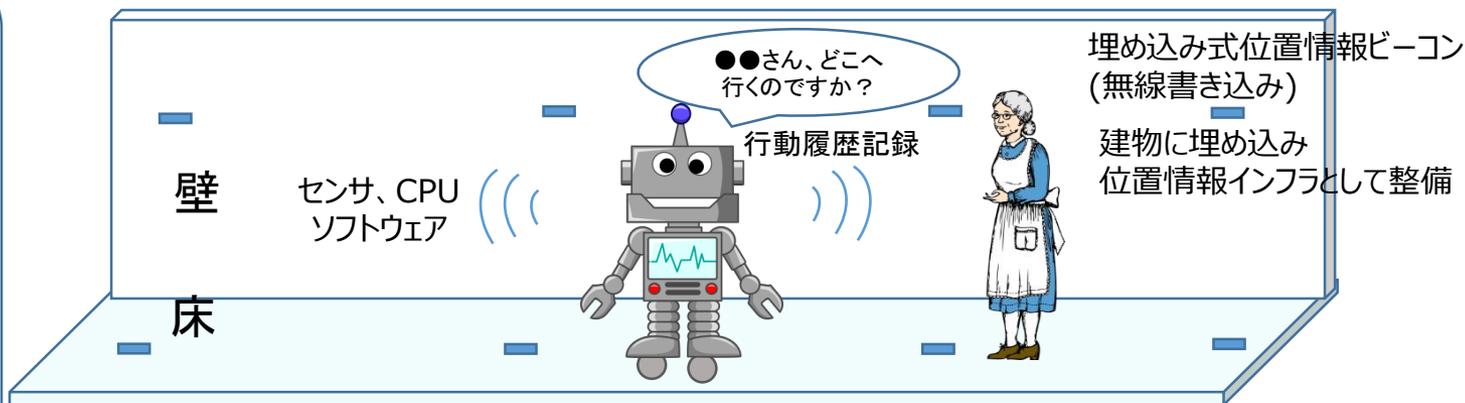
オフィス環境
パーソナライゼーション

監視・警備

医療機器管理

検体回収
自動配膳

災害時のユーザーへの
情報通知、人数場所把握



自律移動体

ユーザ認識

自律移動

会話

M2M

監視・警備

案内・誘導

運搬

癒し